

神の選びと召しに心えて

(創世記12・1〜4)

一、神の大きな計画

神の大きな計画とは何でしょうか。それは、神のかたちに似せて造られたアダムが、自らに授けられた自由意思によって神から離れてしまいましたので、すなわち罪に墜ちてしまいましたので、人間が自分の意思で本来のありべき姿に回復できるよう、道備えをすることでした。こうして神は、アブラハムを選ばれ、アブラハムの子孫から救い主イエス・キリストを誕生させられました。これは、主が定められた壮大なご計画です。

二、アブラハムの選びと召し

神は大きなご計画を実現させるために、アブラハムを選び、召されました。アブラハムに必要なことは、神の召しに応えることでした。12章1節を見てまいります。〈主はアブラムに言われた。「あなたは、あなたの土地、あなたの親族、あなたの父の家を離れて、わたしが示す地へ行きなさい。〉とあります。ところで、主がアブラム、後のアブラハムを召される前に起きた出来事がありました。それは、父親のテラが一族でカルデア人の地ウルを旅立ったことです。11章31節に書かれています。〈テラは

その息子アブラムと、ハランの子である孫のロトと、息子アブラムの妻である嫁のサライを伴い、カナンの地に行くために、一緒にカルデア人のウルを出発した。〉と。しかし一行は、途中ハラシまで来ると、そこに住んでしまいました。11章31節の途中からです。〈しかし、ハラシまで来ると、彼らはそこに住んだ。〉とあります。ですが、前後関係からアブラハムはそれを望んでいなかったと、読むことができます。テラはハランの地で死にました。

主はアブラムに、「あなたは、あなたの土地、あなたの親族、あなたの父の家を離れて、わたしが示す地へ行きなさい」と言われました。この時、アブラムが神の召しに従うか否かということ、私たちが神の召しに従うか否かの重さは同じであると、私は考えます。アブラムが特別に偉かったわけではありません。私共と同じ人間です。アブラムは、自身が置かれた環境とチャンス(好機)を前にして、良いものを選び取りました。私たちも同じです。自分が置かれた状況の中で——こればかりは、どうすることもできませんが——良いものを選ぶか否かと同じです。ひよっとすると、今の自分の選択ないしは決断が、将来につながる、神の大きな働きの一翼を担うことになるかも知れません。ですが、それは今の私共には分からないわけです。

三、神の召しに心える

アブラムは主の召しに心えて、ハラシを旅立ちました。4節を見てまいります。〈アブラムは、主が告げられたとおりに出て行った。ロトも彼と一緒にあった。ハラシを出たとき、アブラムは七十五歳であった。〉とあります。いいですね。75歳になっても、主から示されたビジョンを胸に秘めて、自分が知らない地に出て行くのは、いいですね。みなさま、75を越えても、主が道を示され、「これが道だ。これに歩め」との導きを知るなり、踏み出してください。体力と気力は追いつけて来ることでありますように。

主の召しには、大きな祝福が伴っていました。それが12章2節、3節の、主のことばです。〈そつすれば、わたしはあなたを大いなる国民とし、あなたを祝福し、あなたの名を大いなるものとする。あなたは祝福となりなさい。わたしは、あなたを祝福する者を祝福し、あなたを呪う者をのろう。地のすべては、あなたによって祝福される。〉とあります。私はこう思います。アブラムは、主が祝福してくださることを取り引きのようにして、主にお願いしたのではないと。もしアブラムがそのような人間であつたら、神は事前にアブラムを見抜かれ、アブラムを選ばれなかったことと思います。神が、大

きなご計画の要となる器を選ばれるときは、人をねたまず、自慢せず、高慢にならず、礼儀に反することをせず、自分の利益を求めず、苛立たず、人がした悪を心に留めず、不正を喜ばずに、真理を喜び、すべてを耐え、すべてを信じ、すべてを望み、すべてを忍ぶ、そついう器を選ばれると思います。

さて、先ほども申ししていますが、神の選びと召しに心えるのは、アブラハムに限ったことではありません。アブラハムは、自分が主から語られたことばに応答することにより、神の大きな祝福の出発点になりました。では、私たちに對する神の召しとは何なのでしょうか。聖書に書かれています。〈エペソ1:3〜4 私たちの主イエス・キリストの父である神がほめたたえられますように。神はキリストにあつて、天上にあるすべての霊的祝福をもって私たちに祝福してくださいました。すなわち神は、世界の基が据えられる前から、この方であつて私たちを選び、御前に聖なる、傷のない者にしようとなされたのです。〉と。このご計画と選びのゆえに、神は私たちを招いてくださっています。すなわち召してください。神の召し、すなわち主イエス・キリストの召しに心えるか否かは、あなたの決断です。ぜひ、心答してください。そして永遠のいのちを、すなわち神のいのちをいただいでください。